

「父に感謝」！！ ～父の目線を見る～

マタイ7：7～12

今日は父の日です。ある一人の女性が神様と自分の父に「ありがとうを表したい」と始まったのがこの父の日でした。最近の女子高生に「お父さんのことは好きですか」と質問すると8割の人が「大好き」と答えています。意外に思う人もいかもしれませんが、これは父の「日頃の努力の結果」なのです。本来父の日は子が親に感謝する日ですが、最近では「デートをしてあげてもいい日」つまり「父親が子にプレゼントをあげる日」なのです。子が親に感謝する時代ではなく、父親がいかに子に愛されるか感謝できるか、親子逆転しているのです。だから父は「困ったときに助ける人」ではなく、「いつも助ける人」になっているのです。本当の父の存在とは何なのでしょう。またあなたの人生には大波（しげ）が訪れることもあります。その人生の「しげ」に出会ったとき、どのように乗り越えているのでしょうか。（マタイ7：7～12）明治時代、最初に日本に来た宣教師に、フルベッキ宣教師と言う人がいます。彼はアメリカから来るのに6ヶ月かけてきました。大変な思いをしながら神の愛を伝えるために日本にやってきました。神の愛のすばらしさを知り、「父から離れてしまった日本に神の愛を伝えたい」この一心が彼を動かしました。6ヶ月の間何度も大嵐に会い、そんな人々に「祈りなさい」と言いました。すると船に乗ったみんなが神に祈りましたが、フルベッキ宣教師は言いました。「波が去るとまた元に戻る」・・命乞いをする時は誰でも真剣になるものですが喉元過ぎれば熱さを忘れる・・・あなたは神や、父、家族に本当に感謝できていますか？神様は聖書の中で何度も伝えて、「感謝しなさい」「喜びなさい」。なぜ神様は私たちに感謝するように言っているのでしょうか。感謝は周りにして、その周りの人から喜ばれることでもあります。その感謝する力が自らを誤った道から戻す方法なのです。感謝することは、人も自分も変えることができる大きな力なのです。感謝すること、愛すること、恵みを流すこと、赦すこと、これらはすべえどどちらか一方ではなく、両方にたつものなのです。イエス様はいつも右でも左でもない真ん中の答えを選んでいました。右か左かしか選べない中で、右にも左にも逸れず、真っ直ぐに進む、私たちがすべきことはこれです。肉の父は知らずに父になります。だから正しいことができるとは限りません。不完全です。だから本当に父に感謝しようと思ったら、憎むことをやめ、赦すことをしなければできません。だから私たちは感謝するということを聖書から学びます。そして感謝をする方法は、自らのために命をかけてくれたという「本当の愛の姿」を通して、本当の愛を知った私たちが、自らの肉なる父に感謝を表すこと、そして自分が父になったときに、その本当の父（神）が現してくれた姿を、自らの子に現そうとすることで初めて自分がとる行動を知ることができるのです。神の目線はいつも今ではありません。私たちは今、多くの人の「父母」になり、正しいことを知った私たちは正しいことを人々に示さなければいけません。そしてあなたについてくる人の今ではなく、先を見るつまり、神の目線にならなくてははいけません。世の中はあなたの外見と過去しか見ませんが本来の父はそういう見方をしません。今はマイナスであっても先のプラスを見ているのです。過去を見るとしたら神がその人をどう作り、どんな計画があり、どう歩もうとしているかそれだけです。聖書の中に有名な放蕩息子の話があります。まじめな兄に対し、弟は、自分にも分け前があるだろうと、父に生前贈与をもらい、家を出て、それで遊びほうけていました。そしてそれが底をついたとき、「自分は父の家から出てしまったが、召使としてでもつかってもらおう」と家に帰りました。すると、父はそれを見つけるとよい服を着せ大宴会を催しました。長男はそれに対して怒って家に入りませんでした。長男はいつまでも子供だったのです。確かに弟は悪かったのですが、自分が悪かったことに気付いて戻ってきたのです。この父の愛が、神様が本来私たち人間に示した愛であり赦しなのです。そしてそれを知った私たちは人々を愛し、赦すことができます。またパウロは初めキリストを迫害するものでしたが、神の愛を知ることにより変わり、どんなに鞭打たれても、苦しい目にあっても「この状況を感謝します」と感謝すその彼の姿を通して、多くの人が神を信じ、たくさんの奇跡を起こしました。あなたが人生の中で問題があったときに、もしそこで感謝することを選べたら奇跡が起こって、誰一人としてそれによって苦しむことはないし、恵みの中に進むことができ、多くの人が感謝から感謝を見出すことができます。いつも文句や不平ばかり言って、滅びの道に進む人と、辛い状況であってもいつも感謝を見出して祝福される人、聖書ではどちらかなのです。だからまず、**①父の思いを知る**。神の思い、肉なる父の思いを知ってください。聖書には親の心が書いてあります。全ての父は潜在的に本当の父なる存在を知っています。あきらめなければ必ず奇跡は起こるし、あなたが変わります。だから父の本当の思いを知ってください。**②父は今ではなく先を見ている**。人は様々な思いを持ちますが、神の計画がなるのです。私たちは神の前に求めていかなくてははいけません。求めたものは必ず叶えられます。私たちが願うものは、今欲しいもの（権力、豊かさなど）ですが神はそれが与えられるとどういう風になるかを見えています。神があなたにどのような計画をもっていてどういう思いを持っているかを知ってください。あなたの過去と今を知っている神様はあなたの先を見てあなたにとって今必要なものを与えてくれます。神が一番よいもの知っているのです。**③子から父になる**。放蕩息子は、子から父へ、受けるものから与えるものになろうとして父の元に帰ってきました。私たちはいつまでも子供ではいけません。子供でいると分かっていることでも分かっていることを実践できません。責任を取ってくれる人がいるからです。父親になったあなたには、あなたとあなたに任された人たちに対して他に責任を取ってくれる人はいません。子が父になることを通して本当の神の心を知ることができるようになるのです。すると私たちは多くの人の痛みを負い、正しく導き、自らの責任でしなくてはならない神から言われることを果たせるようになります。神の前に感謝し、神様があなたにどのような計画を持っているかを知ることを通して、今ではなく先を見て、子から父になって父の目線で人々を見てください。そうすれば多くの人に父の愛が流されます。神の愛で人々に接する、これが子から父になるということです。正しい父の思いになって、父を失った人たちに愛を流していきましょう。（要約者：岩崎祥誉）